

各課所で行われている、県民サービス向上や業務改善に向けた意欲的な取組をレポートします。

会議の廃止・効率化

水戸保健所、港湾課、農業政策課、水産振興課、茨城港湾事務所

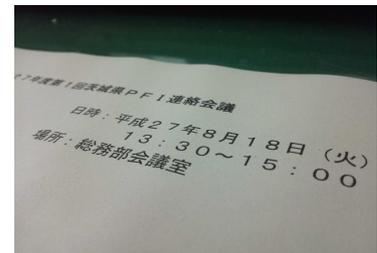
ここがポイント 

- ICTの活用、合同開催、同日開催等の工夫により、会議の廃止・開催回数減
- 資料の事前配布、終了時間の明示、プロジェクターの活用等により効率的に運営

私たちが業務を進める中では、様々な打合せ、協議、説明会、研修会等の会議が開催されています。そこに工夫・改善の余地はないでしょうか。

「ムダ排除に関する全庁共通の重点取組項目(9項目)」においては、次の8つのポイントが示されています。

- ① 単なる説明のための会議は資料送付等により対応
- ② 対象者が同一の会議が複数ある場合は、合同で開催
- ③ 代理出席者が多い会議は、廃止を含めてそのあり方を見直し
- ④ 資料はできる限り簡素化し、事前配布を徹底
- ⑤ あらかじめ終了時間を明示し、これを厳守
- ⑥ 会議の目的を踏まえ、出席者は最少人数に絞り込み
- ⑦ 会議開催場所等の見直し(会場の無料化等)
- ⑧ 打合せの際に、開始時間と終了時間を記録し、時間短縮を意識付け



終了時間を明示して厳守

今回は、会議の廃止・効率化に関する各課所における取組をご紹介します。

1 会議の廃止・開催回数減

○ 水戸保健所では、平成26年度から、関係保健所が集まり年間計画を確認する「業務実施計画会議」を廃止しました。代替措置として、共有フォルダの活用により関係保健所間の情報共有を可能にすることで、特段の支障なく、開催事務を軽減することができているとのこと。

また、参加者の重複する「市町村歯科口腔保健支援研修会」及び「介護予防事業担当者研修会」、並びに「地域移行支援連絡協議会」及び「水戸保健所管内ひきこもり対策連絡協議会」を合同又は同日に開催することにより、開催事務の半減、参加者の負担軽減、内容の充実につなげることができました。

なお、他保健所でも同様の取組が行われています。

○ 港湾課では、全国港湾知事協議会の幹事会を例年3回開催していたところ、電子メールの活用等により、要望書の確認などの作業を省力化し、開催回数を2回に減らしました。これにより、遠方からも参加する幹事各県の負担軽減につながりました。

2 会議の効率的な運営

○ 農業政策課では、農地転用制度等説明会において、資料を事前にメールで送付して内容を周知することにより、関連する法律の改正内容などのより深い説明ができるようにしました。

○ 水産振興課では、グループ打合せ等において、資料裏面などを用いて検討内容を書き出しながら進行し、論点の明確化、共有化、進行の円滑化を図りました。



コストを意識した効率的な会議運営を

○ 茨城港湾事務所では、入札委員会において、従来紙ベースで審議していた入札案件を、パソコン及びプロジェクターを使用して審議する方式に改めました。これにより、資料の追加・訂正がその場で可能になり、会議時間の短縮及び用紙の削減が図られました。

行革分権室
から一言

民間企業への出向経験者に聞くと、会議コスト(時間給×人数×時間)の認識の徹底、プロジェクター使用(紙資料削減、顔を上げる、プレゼン能力向上等の効果)の推奨が図られているとのこと。